

実務経験のある教員等による授業科目

## シラバス

総合学科

| 授業科目                                                                                |                   | 授業時数                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音楽業界概論                                                                              |                   | 60                                                                                                                  |
| 学年                                                                                  | 学科                |                                                                                                                     |
| 1                                                                                   | 総合学科              |                                                                                                                     |
| 担当講師(プロフィール)                                                                        |                   |                                                                                                                     |
| 杉山 徹<br>ギタリスト、アーティストプロデューサーとしてレコーディング、ライブ演奏、イベント制作、写真撮影、映像編集など様々な経験を生かし学生の指導や育成をする。 |                   |                                                                                                                     |
| 前期                                                                                  |                   |                                                                                                                     |
| 到達目標                                                                                |                   |                                                                                                                     |
| 音楽業界という業界への理解を深める                                                                   |                   |                                                                                                                     |
| 評価方法                                                                                |                   |                                                                                                                     |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                        |                   |                                                                                                                     |
| 授業計画                                                                                |                   |                                                                                                                     |
| 授業項目                                                                                |                   | 実施内容                                                                                                                |
| 1                                                                                   | 施設設備について          | いろんな専攻が使用する施設・設備について見学を行い、その内容について概ねの理解を求めます。後に使用するスタジオ機材、学生が活用できるスタジオ・メディアレンタルについての説明も行います。                        |
| 2                                                                                   | 総合音楽I専攻カリキュラムについて | 就職・デビュー両方に関する研究が重ねられたカリキュラムを説明していきます。担当される講師の紹介も含め、総合音楽専攻全体の紹介となります。                                                |
| 3                                                                                   | 技術系専攻等について        | 音楽をやっていく上で、色んなスタッフの協力を得ることになります。自分たちの専攻以外に、どのような内容のものがあるのかをしっかりと知ってもらう内容となります。                                      |
| 4                                                                                   | ミュージシャンについて①      | 「音楽がやりたい」という最初の気持ちを忘れず、音楽をしていく人として「ミュージシャン」という生き方を知ってもらいます。担任が、いろんなケースを紹介してくれます。                                    |
| 5                                                                                   | ミュージシャンについて②      | 音楽活動をしていく過程において、色々なものに遭遇していきます。人の繋がり、楽器との出会い、バンド活動スタート、解散、技術スタッフとの関連、プロモートや制作関連の人たちとの関わりに気づいてもらいます。                 |
| 6                                                                                   | スタッフについて          | 音楽業界で働くには、考え方や技術の向上が不可欠です。そのために「裏方でアーティストをさせる」という考え方を知ってもらいます。失敗、挫折、復活の繰り返しで先が見えていきます。                              |
| 7                                                                                   | 楽器について①           | 身近なLM楽器。Guitarの構造や各モデル事の音色の違い、有名なギタリストについて学びます。                                                                     |
| 8                                                                                   | 楽器について②           | 身近なLM楽器。Bassの構造や各モデル事の音色の違い、有名なベーシストについて学びます。                                                                       |
| 9                                                                                   | 楽器について③           | 身近なLM楽器。Drumの構造や各モデル事の音色の違い、有名なドラマーについて学びます。                                                                        |
| 10                                                                                  | 楽器について④           | 身近なLM楽器。Keyboardの構造や各モデル事の音色の違い、有名なキーボーディストについて学びます。                                                                |
| 11                                                                                  | コンサートPAについて       | PA(パブリックアドレス)、SR(サウンドリフォーシメント)という内容や、常設のライブハウス、トラックでの搬入作業を伴うコンサート等、実際の音響関連設備等について学ぶ。                                |
| 12                                                                                  | ライブ・イベント          | 学校の中でも開催されるライブイベント。さて自分たちが、出演者側や裏方側になった時にどういうことをしていくのかを勉強します。募集・応募・出演依頼・提出資料・プロフィール・セットリスト・当日進行確認・リハ・本番等の流れを知りましょう。 |
| 13                                                                                  | ライブハウス            | だれもが分りやすい「ライブハウス」でのライブイベントの勉強をします。対バン、チケット、セットリスト、ステージ進行、MC、音楽以外にも、いろんな要素が出てきます。                                    |
| 14                                                                                  | 前期試験              | 1～13までのペーパーテスト                                                                                                      |
| 15                                                                                  | テスト返却と解説          |                                                                                                                     |

| 授業の方法                                                                                                                                       |              |                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義・演習・実験・実技・実習                                                                                                                              |              |                                                                                                                 |
| 授業概要                                                                                                                                        |              |                                                                                                                 |
| 学内施設&設備、カリキュラム、他専攻との関わりやその内容の理解を深め、ミュージシャンとしてスタッフとして雑学的に知ってもらいたい内容等も勉強します。実技で学習する楽曲に対しての対比や同様の紹介、楽器のしくみ音楽の考え方を吸収します。<br>＜実務経験のある教員等による授業科目＞ |              |                                                                                                                 |
| 使用教材:                                                                                                                                       |              |                                                                                                                 |
| 後 期                                                                                                                                         |              |                                                                                                                 |
| 到達目標                                                                                                                                        |              |                                                                                                                 |
| 音楽活動と音楽そのものへの理解を深める                                                                                                                         |              |                                                                                                                 |
| 評価方法                                                                                                                                        |              |                                                                                                                 |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                                                                                |              |                                                                                                                 |
| 授業計画                                                                                                                                        |              |                                                                                                                 |
| 授業項目                                                                                                                                        | 実施内容         |                                                                                                                 |
| 1                                                                                                                                           | 前期総括内容       | 前期1～14までの復習をもう一度行います。                                                                                           |
| 2                                                                                                                                           | レコーディングについて  | ここでは、一般的なレコーディング作業の流れを解説します。データ、リズム録り、オーバーダブ、ボーカル録り、コーラスetc等、人やタイミング、時間によって作業手順も変わります。                          |
| 3                                                                                                                                           | イベント関連       | 「イベント」というカテゴリーについて勉強します。コンサートやライブは、音楽を中心としたイベントですが、世の中には、この言葉で沢山の催事が繰り広げられます。                                   |
| 4                                                                                                                                           | 集客・動員について    | ライブ活動を中心に考えると早いうちに理解が必要になる項目です。営業的な観点にたったライブ活動は、デビューに近づく第一歩でもあります。                                              |
| 5                                                                                                                                           | 音楽業界のしくみ     | 第一段階として、基本的なプロダクション、レコード会社、音楽出版から成り立つ音楽業界の仕組みを勉強します。                                                            |
| 6                                                                                                                                           | 音楽について①      | 現在、J-POP等でヒットしているものを取り上げてみます。みんなの好きそうなボーカリストやバンド、5年前と比べてどう変化しているのかを考えてます。                                       |
| 7                                                                                                                                           | 音楽について②      | 人気ある夏フェス等で活躍する3ピースバンドをピックアップします。楽曲の良さ?、パフォーマンス?いろんな角度でみんなが感じるものを発表しましょう。                                        |
| 8                                                                                                                                           | 音楽について③      | アンサンブル等で取り上げる楽曲について、その歴史背景に触れていきます。その影響を受ける日本の曲等が参考になれば、より理解が深まります。                                             |
| 9                                                                                                                                           | 音楽業界の歴史      | 音楽業界のかたちは、最初にだれかが作ったものではなく、アーティストたちが自分たちの活動をどうしていくのか、どう知らせていくのか、どう食べていくのかということから発生。それが、後に仕事として大きく組織化されていったものです。 |
| 10                                                                                                                                          | 音楽業界の変化      | 皆さんは、音楽や音楽情報をどう知り得ていますか?そして、「音楽」をどうにかたちで買っていますか?やはり、メディアから考えると変化しないといけないですね。                                    |
| 11                                                                                                                                          | 宣伝・PR・媒体について | 一般的なプロモーション手法について勉強します。フライヤー・ポスター・雑誌掲載等、視覚効果的なものや耳から入って来るもの、またはSNS等も大きな媒体効果を発揮していきます。                           |
| 12                                                                                                                                          | 音源制作について     | 自分個人またはバンドで音源を作っていきます。自分たちのプロモーションや販売も視野に入れて、まずは第一弾を作るために、..どうしたらいいのかを学びます。                                     |
| 13                                                                                                                                          | 著作権①         | まずは、簡単に作詞・作曲等の印税となる内容や、アーティストの権利を学びます。                                                                          |
| 14                                                                                                                                          | 後期試験         | 1～13までのペーパーテスト                                                                                                  |
| 15                                                                                                                                          | テスト返却と解説     |                                                                                                                 |

| 授業科目                                                                                 |                     | 授業時数                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音楽業界概論                                                                               |                     | 60                                                                                                       |
| 学年                                                                                   | 学科                  |                                                                                                          |
| 2                                                                                    | 総合学科                |                                                                                                          |
| 担当講師(プロフィール)                                                                         |                     |                                                                                                          |
| 杉山 徹<br>ギターリスト、アーティストプロデューサーとしてレコーディング、ライブ演奏、イベント制作、写真撮影、映像編集など様々な経験を生かし学生の指導や育成をする。 |                     |                                                                                                          |
| 前期                                                                                   |                     |                                                                                                          |
| 到達目標                                                                                 |                     |                                                                                                          |
| 音楽活動への理解を深める/音源制作とその収益ビジネスの知識を得る                                                     |                     |                                                                                                          |
| 評価方法                                                                                 |                     |                                                                                                          |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                         |                     |                                                                                                          |
| 授業計画                                                                                 |                     |                                                                                                          |
| 授業項目                                                                                 | 実施内容                |                                                                                                          |
| 1                                                                                    | 2年の総合音楽専攻カリキュラムについて | 2年次のカリキュラムを説明しながら、本質的な内容をしっかりと説明していきます。                                                                  |
| 2                                                                                    | PC操作①               | PCの操作の基礎を学び、メールアカウントを取得します。                                                                              |
| 3                                                                                    | PC操作②               | ワードソフトを使用してビジネス文章の作成をします。                                                                                |
| 4                                                                                    | PC操作③               | ワードソフトを使用して公演概要の作成をします。                                                                                  |
| 5                                                                                    | オーディション・コンテスト       | オーディションやコンテストの内容をしっかりと理解して、応募することを理解してもらいます。プロフィールデータや実演上の最低限のマナー、質疑応答等についても勉強します。                       |
| 6                                                                                    | ライブブッキングについて        | 最初の「ライブに出演」は紹介や友人知人からの依頼になります。ここでは自己のバンドとして、もう一段上を目指すかたちで、ライブブッキングをしていく為の内容です。                           |
| 7                                                                                    | デビュー①[プロフィール編]      | ステージに登場する全ての演者には大切なものになります。そのキャラクターが発揮できるプロフィール内容や音源、映像は売りの要素です。YouTube等でも、その個人の資質は見えるものなので考え方を整理します。    |
| 8                                                                                    | メジャーとインディーズ         | メジャーレーベルからデビュー、しかしCDが売れる時代ではありません。振り切っているインディーズの方が判りやすいのかも知れません。今後を考えていきます。                              |
| 9                                                                                    | CD制作の仕組み①           | CD制作工程を、レコーディング(原盤制作)も入れて理解をしていきます。企画、楽曲A&R、アレンジ企画、ミュージシャンPU、スタジオ、エンジニア、ジャケット撮影、リリース等、商品を作るために沢山の人が動きます。 |
| 10                                                                                   | CD制作の仕組み②           | プレスされたCDが、どのようなかたちで流通するのか？また、売上げはどういう方法で加算されるのか等、制作～流通、消費者に届くまでを勉強します。                                   |
| 11                                                                                   | PC操作④               | エクセルソフトを使用してタイムスケジュールの作成をします。                                                                            |
| 12                                                                                   | PC操作⑤               | エクセルソフトを使用して進行表の作成をします。                                                                                  |
| 13                                                                                   | PC操作⑥               | パワーポイントを使用してイベントプレゼン資料の作成をします。また、ワードを使用してコンサートフライヤーの作成をします。                                              |
| 14                                                                                   | 前期試験                | 1～14ペーパーテスト                                                                                              |
| 15                                                                                   | テスト返却と解説            |                                                                                                          |

| 授業の方法                                                                                                        |                         |                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義・演習・実験・実技・実習                                                                                               |                         |                                                                                              |
| 授業概要                                                                                                         |                         |                                                                                              |
| 音楽業界の歴史的背景や成り立ち、そして、業種の仕組みやその関連業種等についても学びます。著作権、流行、PC操作、ソーシャルメディアへの対応も含め業界への指向を深めていく内容です。＜実務経験のある教員等による授業科目＞ |                         |                                                                                              |
| 使用教材:                                                                                                        |                         |                                                                                              |
| 後期                                                                                                           |                         |                                                                                              |
| 到達目標                                                                                                         |                         |                                                                                              |
| 権利と収益の知識を得る/創作活動について自身の考えを持つ                                                                                 |                         |                                                                                              |
| 評価方法                                                                                                         |                         |                                                                                              |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                                                 |                         |                                                                                              |
| 授業計画                                                                                                         |                         |                                                                                              |
| 授業項目                                                                                                         | 実施内容                    |                                                                                              |
| 1                                                                                                            | 著作権②                    | 著作権①で学んだ内容を掘り下げていきます。作詞・作曲等の印税、アレンジの買取り、著名スタジオミュージシャンの印税契約、アーティストの権利も含め、著作権で守られる内容を勉強します。    |
| 2                                                                                                            | 著作権③                    | 特許申請されるものの例も含め、音楽以外にも、演出、振付け、図面、建物、キャラクター等も含め知っておきたいとします。                                    |
| 3                                                                                                            | アーティストに関わる契約            | アーティスト契約には、非常に細かい内容が盛り込まれるケースがあります。そのような例を解説していきます。                                          |
| 4                                                                                                            | 音楽ビジネス全般についてのお金の流れと収益構造 | アーティストの原盤制作から派生するツアー&コンサート・CDセールス、ファンクラブ・グッズ販売、出演依頼、掲載も含めた音楽ビジネス全般として捉えています。                 |
| 5                                                                                                            | 海外の音楽業界事情               | その時期の一般的なUSAやUKの音楽事情を解説します。                                                                  |
| 6                                                                                                            | PC操作⑧                   | フォトショップを使用して写真の加工を学びます。                                                                      |
| 7                                                                                                            | PC操作⑨                   | フォトショップを使用して卒業制作CDジャケットの作成をします。                                                              |
| 8                                                                                                            | PC操作⑩                   | イラストレーターを使用して卒業制作CDブックレットの作成をします。                                                            |
| 9                                                                                                            | 写真・ビデオ撮影                | スマートフォンのカメラを使用してPV制作のための写真やビデオ撮影をします。                                                        |
| 10                                                                                                           | PC操作⑪                   | 撮影した素材をもとに「iMovie」を使用してPVの編集をします。                                                            |
| 11                                                                                                           | 音楽配信の仕組み①               | CDの流通は激減、配信によって音楽が購入されていきます。基本的な流れを理解してもらい、今後の変化にも対応します。                                     |
| 12                                                                                                           | 音楽配信の仕組み②               | 音楽配信のおかげで今まで、知ることができなかった、様々なミュージシャンたちの演奏も見ることが出来てしまいます。各国のアーティストが発信を続けて行く限りない世界に突入している現状です。  |
| 13                                                                                                           | いろいろな収益構造               | 音楽ビジネスは、原盤制作となるものが基本となり、その商品に埋め込まれた配分システムがあります。売上げが上がりれば増える内容、売上げとは関係の無い「買取り」等、色んな収益構造を学びます。 |
| 14                                                                                                           | 後期試験                    | 1～13ペーパーテスト                                                                                  |
| 15                                                                                                           | テスト返却と解説                |                                                                                              |

| 授業科目                                                               |                | 授業時数                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音響工学                                                               |                | 60                                                                                                |
| 学年                                                                 | 学科             |                                                                                                   |
| 1                                                                  | 総合学科           |                                                                                                   |
| 担当講師(プロフィール)                                                       |                |                                                                                                   |
| 伊東 克彦<br>長年にわたりレコーディングやライブの音響エンジニアとして活躍。音響現場において必要とされる知識や技術の指導を行う。 |                |                                                                                                   |
| 前期                                                                 |                |                                                                                                   |
| 到達目標                                                               |                |                                                                                                   |
| ●音に関する基礎知識の習得<br>●スピーカーやマイク、コンソールなど機器の知識                           |                |                                                                                                   |
| 評価方法                                                               |                |                                                                                                   |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                       |                |                                                                                                   |
| 授業計画                                                               |                |                                                                                                   |
| 授業項目                                                               | 実施内容           |                                                                                                   |
| 1                                                                  | 音の伝達           | 音源から媒質(空気等)を伝わる理屈を知り、様々な媒質での音の進み方の違いを理解する。                                                        |
| 2                                                                  | 音の三要素          | 音量、音程、音色の特色を知り、音色を形作る波形、倍音構成、エンヴェロップを学ぶ。                                                          |
| 3                                                                  | 音の回折と屈折        | 音速、周波数特性、音程による屈折率の違い、気温変化による屈折の原理を理解する。                                                           |
| 4                                                                  | 音場とアンビエンス①     | 空間での音の進み方や反射による反響と残響の違いを学びます。                                                                     |
| 5                                                                  | 音場とアンビエンス②     | 吸音率を学び、部屋の音の響きを考える。また、自然空間でのリバーブを考察する。                                                            |
| 6                                                                  | ステレオとモノラル・立体音響 | イメージシートを用いて立体感を感じる感覚を持つ。そして、疑似ステレオとモノラルの違いを理解する。                                                  |
| 7                                                                  | 音響心理効果         | ドップラー効果やマスキング効果、カクテルパーティ効果、ハース効果、ピッチ効果(メル尺度)等の心理的效果について学ぶ。                                        |
| 8                                                                  | 小テスト           | 1～7の音響基礎の内容から出題する小テスト実施                                                                           |
| 9                                                                  | 音響機器① マイクロフォン  | マイクروفンの構造と動作原理、周波数特性、指向性、感度等の特性を理解します。また、近接効果等の使用例やコネクタとバランス回路を学びます。その他に特殊マイク、ダイレクトボックスについて学びます。 |
| 10                                                                 | デシベル①          | 基本的な単位としての意味や成り立ちを勉強します。そして計算方法、基準レベル等の実際の使用を理解していきます。                                            |
| 11                                                                 | デシベル②          | デシベルの計算練習や誤差の理解をしていきます。基準電圧、基準レベル、機器接続時の注意点を学びます。                                                 |
| 12                                                                 | 音響機器② パワーアンプ   | パワーアンプの特徴と種類、そしてランク、保護回路、DF等について講義を行います。                                                          |
| 13                                                                 | 音響機器③ スピーカー    | ダイナミックスピーカーの動作原理を理解していきます。ユニットとエンクロージャー・マルチウェイとネットワークについて学んでいきます。                                 |
| 14                                                                 | 前期筆記試験         | 前期1～14週の内容の筆記試験                                                                                   |
| 15                                                                 | 成績発表           | 試験内容の解説とFOLLOW                                                                                    |

| 授業の方法                                                                                                                                                      |                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義・演習・実験・実技・実習                                                                                                                                             |                                                                                                |
| 授業概要                                                                                                                                                       |                                                                                                |
| 音響エンジニアにとって必要な知識を講義形式で学びます。「音響映像設備マニュアル」を用いて、音の基礎から用語の解説、実際に現場で使用する機材の概要や構造を学習します。また、デジタルコンソールやレコーディングに関する基礎知識を学び、実際の現場で使える生きた知識を習得します。＜実務経験のある教員等による授業科目＞ |                                                                                                |
| 使用教材:音響映像設備マニュアル                                                                                                                                           |                                                                                                |
| 後期                                                                                                                                                         |                                                                                                |
| 到達目標                                                                                                                                                       |                                                                                                |
| ●エフェクターに関しての基礎知識の習得<br>●アナログとデジタルの違い、使用方法の習得                                                                                                               |                                                                                                |
| 評価方法                                                                                                                                                       |                                                                                                |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                                                                                               |                                                                                                |
| 授業計画                                                                                                                                                       |                                                                                                |
| 授業項目                                                                                                                                                       | 実施内容                                                                                           |
| 1                                                                                                                                                          | 回路と電位差<br>音響エンジニアとして電気に関する知識を学びます。①電圧、②電流、③抵抗、④電力の理解をしていきます。                                   |
| 2                                                                                                                                                          | オームの法則<br>オームの法則を再度認識を深め、直流通路における抵抗器の働きについて学びます。                                               |
| 3                                                                                                                                                          | オームの法則を用いた計算練習<br>直流通路での合成抵抗計算、分圧と分流、電力量の計算を行います。                                              |
| 4                                                                                                                                                          | Effectorについて①<br>ミキサーにおけるAUX回路、INSERT回路の理解。PreとPostの違いとその使用例を紹介します。そして、ここ数週間に学ぶエフェクターの分類を行います。 |
| 5                                                                                                                                                          | Effectorについて②<br>周波数系エフェクターとして、イコライザの種類と特徴を理解してもらい、その使用方法例を説明します。                              |
| 6                                                                                                                                                          | Effectorについて③<br>空間系のリバーブとディレイの違いを理論的、数値的に理解します。そして、ディレイタイムの計算、リバーブパラメーターの解析をしていきます。           |
| 7                                                                                                                                                          | Effectorについて④<br>ダイナミック系エフェクターとして、コンプレッサー/リミッターの特徴と使用方法を学びます。エキスパンダー/ノイズゲートの特徴と使用方法も理解していきます。  |
| 8                                                                                                                                                          | Effectorについて⑤<br>位相系エフェクターとしてフェイザー、フランジャー、コーラスの特徴を理解していきます。そしてミキシングでの使用方法も考えられるようにしていきます。      |
| 9                                                                                                                                                          | 小テスト<br>電気・Effectorの内容から出題する小テスト実施                                                             |
| 10                                                                                                                                                         | デジタルとアナログ①<br>アナログとデジタルの違いや意味を理解していきます。そして、アナログとデジタル、それぞれの限界を知る。                               |
| 11                                                                                                                                                         | デジタルとアナログ②<br>A/D/A変換について学ぶ。サンプリング周波数と量子化ビット数の意味やアナログ機器とデジタル機器の違いを理解します。                       |
| 12                                                                                                                                                         | デジタルとアナログ③<br>タイムコードとワードクロック、そして同期(シンクロナイズ)を理解していきます。                                          |
| 13                                                                                                                                                         | 総まとめ<br>後期内容に加え前期内容と合わせた総括的なまとめ                                                                |
| 14                                                                                                                                                         | 後期筆記試験<br>後期1～12週を中心に年間内容の筆記試験                                                                 |
| 15                                                                                                                                                         | 成績発表<br>試験内容の解説とFOLLOW                                                                         |

| 授業科目                                                            |          | 授業時数                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 音響工学                                                            |          | 60                                                                          |
| 学年                                                              | 学科       |                                                                             |
| 2                                                               | 総合学科     |                                                                             |
| 担当講師(プロフィール)                                                    |          |                                                                             |
| 伊東 克彦<br>長年にわたりレコーディングやライブの音響エンジニアとして活躍。音響現場において必要とされる知識の指導を行う。 |          |                                                                             |
| 前期                                                              |          |                                                                             |
| 到達目標                                                            |          |                                                                             |
| PAとレコーディングのシステム、デジタルの理解                                         |          |                                                                             |
| 評価方法                                                            |          |                                                                             |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                    |          |                                                                             |
| 授業計画                                                            |          |                                                                             |
| 授業項目                                                            |          | 実施内容                                                                        |
| 1                                                               | レコーディング① | 録音機器の歴史、スタジオの仕組み                                                            |
| 2                                                               | レコーディング② | レコーディングコンソールの知識①<br>・インラインとI/Oモジュール<br>・スプリットコンソールとの違い<br>・HAとEQ・インサートエフェクト |
| 3                                                               | レコーディング③ | パッチベイ<br>・タイプ別接続方法<br>・バンタムケーブルの取扱い<br>・モニターシステムの使用法                        |
| 4                                                               | レコーディング④ | モニターシステム<br>・パワーアンプ<br>・パワードスピーカー<br>・ラージモニターとニアフィールドの使い分け                  |
| 5                                                               | レコーディング⑤ | 録音機<br>・マスターレコーダー<br>・ProTools                                              |
| 6                                                               | レコーディング⑥ | ProTools<br>・簡単なオペレート<br>・ミックスモードとトラックモードの理解                                |
| 7                                                               | レコーディング⑨ | ここまでの纏め、小テスト                                                                |
| 8                                                               | PA①      | PA機器の歴史<br>・舞台芸術の種類と歴史<br>・舞台技術概論                                           |
| 9                                                               | PA②      | 舞台と設備<br>・舞台装置<br>・音響設備<br>・照明設備                                            |
| 10                                                              | PA③      | 安全衛生<br>・関連法令<br>・実例紹介                                                      |
| 11                                                              | PA④      | PA機材①<br>・スピーカーシステム<br>・パワーアンプ<br>・プロセッサー(チャンネルディバイダー)                      |
| 12                                                              | PA⑤      | PA機材②<br>・アナログコンソール<br>・デジタルコンソール<br>・ネットワークシステム                            |
| 13                                                              | PA⑥      | PA機材③<br>・マイク、アクセサリ、スタンド<br>・ケーブル各種<br>・アウドボード                              |
| 14                                                              | テスト      | 前期内容から                                                                      |
| 15                                                              | テスト返却    | 解答の解説                                                                       |

| 授業の方法                                                                                                     |                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 講義・演習・実験・実技・実習                                                                                            |                                                            |
| 授業概要                                                                                                      |                                                            |
| 音響エンジニアにとって必要な知識を講義形式で学びます。「音響映像設備マニュアル」を用いて、音の基礎から用語の解説、実際に現場で使用する機材の概要や構造を学習します。<br><実務経験のある教員等による授業科目> |                                                            |
| 使用教材:音響映像設備マニュアル                                                                                          |                                                            |
| 後 期                                                                                                       |                                                            |
| 到達目標                                                                                                      |                                                            |
| 実際のミキシングに対する応用力の向上                                                                                        |                                                            |
| 評価方法                                                                                                      |                                                            |
| 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他                                                                              |                                                            |
| 授業計画                                                                                                      |                                                            |
| 授業項目                                                                                                      | 実施内容                                                       |
| 1                                                                                                         | エフェクタ 復習編①<br>周波数系<br>空間系<br>アウトボードとデジタルコンソールDSPでの違い       |
| 2                                                                                                         | エフェクタ 復習編②<br>ダイナミック系<br>アウトボードとデジタルコンソールDSPでの違い           |
| 3                                                                                                         | エフェクタ 復習編③<br>位相系<br>アウトボードとデジタルコンソールDSPでの違い               |
| 4                                                                                                         | ミキシングイメージ①<br>ステレオ感とモノラル感<br>・イメージシート<br>・ライブとパッケージ        |
| 5                                                                                                         | ミキシングイメージ②<br>イコライジング<br>・EQとフィルターの違い<br>・効果的な使用法<br>・失敗例  |
| 6                                                                                                         | ミキシングイメージ③<br>空間確保<br>・ステレオ感と位相<br>・位相ずれによる障害              |
| 7                                                                                                         | ミキシングイメージ④<br>音程感<br>・高くも低くも無い音程とは?<br>・高音と低音のバランス         |
| 8                                                                                                         | ミキシングイメージ⑤<br>まとめ<br>・効果的なミキシング目標<br>・場面に応じた対処法            |
| 9                                                                                                         | MA①<br>プリプロとポストプロ<br>ポストプロダクションの仕組み                        |
| 10                                                                                                        | MA②<br>タイムコード<br>・タイムコードの扱い<br>・VTRとMTRの同期<br>・ドロップフレームの意味 |
| 11                                                                                                        | MA③<br>MAテクニック<br>・SEとBGM<br>・MEと台詞                        |
| 12                                                                                                        | MA④<br>ミキシング<br>・ステレオとモノラル<br>・サラウンド                       |
| 13                                                                                                        | MA⑤<br>映画とテレビの違い<br>総まとめ                                   |
| 14                                                                                                        | テスト<br>後期内容から                                              |
| 15                                                                                                        | テスト返却<br>解答の解説                                             |